

令和 6 年度（繰越） 小学校建設事業 赤穂東小学校トイレ改修工事

番 号	図 面 名 称
0 1	建築改修工事特記仕様書
0 2	配置図
0 3	工事位置図
0 4	現況図・撤去図・改修図
0 5	電気設備改修図・床開口補強詳細図・建具表
0 6	機械設備工事特記仕様書
0 7	機械設備工事現況図・撤去図・改修図

駒ヶ根市 教育委員会 子ども課

建築改修工事特記仕様書

工事概要

工事名称

令和6年度（繰越） 小学校建設事業 赤穂東小学校トイレ改修工事

工事場所

長野県 駒ヶ根市 飯坂1丁目19番1号

工事の種類・規模等

棟名称	北校舎			
工種				
構造・階数				
建築面積	m ²			
延べ面積	m ²			
改修延べ面積	m ²			
延べ面積計				m ²
改修延べ面積計				m ²
模様替内容	・耐震改修 ・改修 ○トイレ改修			
（ ）の数値は、当該既設建物の面積とする。				
工作物等	-----			

一般特記事項

総則

1. この工事の受注者は、現場説明書、特記仕様書、設計図面、公共建築工事標準仕様書・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編・最新版）（以下、改修標準仕様書という）、工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。

2. 特記仕様書の適用方法
（1）・印で始まる事項及び表中の・印の事項は、○印の付した事項のみ適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
（2）-----で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。
（3）表中の数字、文字、又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。
（4）特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱いは、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
（5）左欄の〈 〉内の数値は、改修標準仕様書（建築工事編・最新版）の各該当番号を示す。

3 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事にあっては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、工事受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第2条（臨機の措置）によって処理されたものとする。

1 章 一般共通事項

適用基準等

○建築工事標準詳細図（最新版） 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修
・建築鉄骨設計基準及び同解説（最新版） 建設大臣官庁官庁営繕部償習

〈1.1.4〉
工事実績情報の登録

※工事請負代金が500万円以上の場合は適用する。 ・適用しない。

〈1.3.12〉
発生材の処理等

建設副産物に関しては、標準仕様書1.3.12によるほか、建築工事における建設副産物管理マニュアルに従い適切に処理する。
・引渡しを要するもの（ ）
・特別管理産業廃棄物 ※無 ・有（ ） 処理方法（ ）
・現場において再利用をはかるもの（ ）
・再生資材の利用を図るもの（ コンクリート塊 ）

〈1.2.1〉
実施工程表

総合試運転調整を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状態にまで完了していること。

品質計画

建築基準法に基づき定められた区分等（告示第1454号及び第1455号による。）
地域の風速 V₀= m/s
地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ
積雪区分 別表（ ）

建設副産物情報交換システム

本工事は、建設副産物情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、受注者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。
尚、これにより難しい場合には、監督職員と協議しなければならない。

特定建設資材の再資源化等

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（（平成12年法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
尚、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「7解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が積算条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。但し、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項については、この限りでない。又、受注

者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。
1）再資源化等が完了した年月日
2）再資源化等をした施設の名称及び所在地
3）再資源化等に要した費用
尚、書面は「建設リサイクルガイドライン（平成14年5月）」に定めた様式1（再生資源利用計画書（実施書））及び様式2（再生資源利用促進計画書（実施書））を兼ねるものとする。但し、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

・別表1 建築物に係る解体工事

工程としての作業内容及び解体方法

工 程	作業内容	分別・解体等の方法
・建築設備、内装材等	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・屋根ふき材	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・外装材、上部構造部材	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・基礎、基礎ぐい	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・その他（ ）	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用

○別表2 建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替）

工程としての作業内容及び解体方法

工 程	作業内容	分別・解体等の方法
・造成等	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・基礎、基礎ぐい	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・上部構造部分、外装	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・屋根	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
○建築設備、内装等	○有 ・無	○手作業 ・手作業と機械作業の併用
・その他（ ）	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用

・別表3 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（外構・工作物等）

工程としての作業内容及び解体方法

工 程	作業内容	分別・解体等の方法
・仮設	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・土工	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・基礎	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・本体工事	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・本体付属品	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用
・その他（ ）	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用

※別表4 再資源化等をする施設の名称及び所在地

廃棄物の種類	施設の名称	所 在 地
・コンクリート		
・鉄及びコンクリートから成る建設資材		
・アスファルト及びコンクリート		
・木材		

注）別表4については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
尚、受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。

※適用する。 ・適用しない。

工事に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にない補修する。

適用工事種別	技能検定の職種
仮設工事	・ と び
鉄筋工事	・ 鉄 筋 施 工
コンクリート工事	・ 左 官 ・ 型 枠 施 工 ・ コンクリート圧送施工
鉄骨工事	・ と び ・ 鉄 工
ブロック・ALCパネル・PCCカーテンウォール工事	・ ブロック建築 ・ ALCパネル施工 ・ カーテンウォール施工
防水工事	・ 防 水 施 工
石工事	・ 石 材 施 工
タイル工事	・ タイル張り
木工事	・ 建 築 大 工
屋根、とい工事	・ 建築板金 ・ スレート施工
金属工事	・ 内装仕上げ施工（鋼製下地）
左官工事	・ 左 官
建具工事	・ サッシ施工 ・ ガラス施工
塗装工事	・ 塗 装
内装工事	○内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等） ・ 表 装
植栽工事	・ 造 園

〈1.7.9〉
化学物質の濃度測定

測定室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定すること。
測定対象室及び測定箇所数

測定対象室	室 名	測定箇所数
・		※1箇所 ・
・		※1箇所 ・
・		※1箇所 ・
	計	※1箇所 ・

測定方法 ・※バッシュ採取による蒸気拡散式分析法
・厚生労働省の標準法 ・バッジ法（Vバッジ・Fバッジ）
測定物質 ・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン・パラジクロロベンゼン
測定者 ・※専門測定機関による測定 ・現場作業員による測定
測定前準備 ・測定対象室を30分換気し、その後5時間閉鎖する。
測定時 ・測定は、換気設備又は空気調和設備を稼働させたまま行う。
測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定（10時30分～18時30分）とする。
測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。
測定後 ・測定年月日、測定時刻、測定時の室温・湿度・天候、及び内装仕上げ工事の完了した年月日等を記録すること。

設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。
ホルムアルデヒドの発散量：規制対象外
該当する建築材料
1）JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
2）建築基準法施工令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
3）下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを発散しない塗料等を使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用
ホルムアルデヒドの発散量：第3種
該当する建築材料
1）JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
2）建築基準法施工令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
3）旧JISのE規格品
4）旧JASのF規格品

工事中に提出すべき書類は、下記によるものとする
○施工計画書 ・ ・ ・ 契約後30日以内
○材料確認 ・ ・ ・ 確認予定日の前日迄
・段階確認 ・ ・ ・ 確認予定日の前週迄
・確認・立会願 ・ ・ ・ 確認予定日の前週迄
○工事打合簿（指示・承諾・協議・提出・報告・届出簿） ・ ・ ・ 必要の都度
○工事進捗状況報告書 ・ ・ ・ 当月の25日まで
○施工体制台帳及び施工体系図 ・ ・ ・ 当該工事着手日以前
・品質管理図表 ・ ・ ・ 工事完成時
・出来形管理図表 ・ ・ ・ 工事完成時
・各種台帳 ・ ・ ・ 工事完成時
○変更資料の提出 ・ ・ ・ 必要の都度
○その他監理者が必要と認めた関係書類 ・ ・ ・ 監理者が指示した日
○変更施工計画書 ・ ・ ・ 必要の都度
○施工体制台帳及び施工体系図の変更 ・ ・ ・ 必要の都度
・再生資源利用促進計画書 ・ ・ ・ 施工計画時

・完成図（施工図、施工計画書を除く）
A1二つ折り製及びA3縮小版二つ折り製本
○完成図CADデータ（CD-R）2枚 作成方法は「営繕工事電子納品要領（案）」による。
○施工図及び施工計画書
○保全に関する資料
○品質関係書類
○その他監督職員の指示によるもの
*提出部数については、監督職員と協議の上決定する。

〈1.9.1〉
完成時の提出図書

完成写真

完成写真はキャビネ版とし黒表紙、工事名称等は金文字入りとする。
工事写真帳は（ ・ 紙媒体 ・ 電子媒体 ）で 部提出する。
撮影箇所
・外部： 箇所
・内部： 箇所
・航空写真： 箇所
※おおむね上記箇所数とし、監督職員と協議の上決定する。
（注）撮影位置及び提出物は監督職員の承諾を受ける。
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者

工事写真

作成方法は「営繕工事電子納品要領（案）」による。

建築材料等

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとする。
ただし、JIS及びJASのマーク表示のない材料等を仕様する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料等又は外部機関が発行する資料等の写しを、監督職員に提出して承諾を受ける。

特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

監督員＝監理者用設計図書

・A1製本： 部
・A3縮小版： 部
※協議による

騒音・振動の防止

「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」（平成9年度建設省告示第1536号）に基づき指定された建設機械を使用する。

排出ガス対策建設機械の使用

排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。

設備工事との取合い

施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ
※上記以外は、工事区分表による
施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。（総合図）

設計等

※図示のベンチマーク（B、M）
○監督職員の指示による

事故報告

工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。

2 章 仮 設 工 事

監督職員事務所

※設ける 規模 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号 （表2.3.1）
○設けない（既存建物利用） ・仮設計画図による

工事用水

構内既存の施設 ○利用できる（※有償・無償） ※利用できない

工事用電力

構内既存の施設 ○利用できる（※有償・無償） ※利用できない

〈2.2.1〉
足場その他

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

~~3 章 防 水 改 修 工 事~~

~~4 章 外 壁 改 修 工 事~~

~~5 章 建 具 改 修 工 事~~

6 章 内 装 改 修 工 事

既存床の撤去並びに
下地補修

ビニル床シート貼り

天井点検口

トイレブース

ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（※図示の範囲 ・除去範囲全て）
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・図示

種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ（mm）
○発泡層のないもの	※FS		※無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※2.0 ・
・発泡層のあるもの			・無地 ・柄物	・防汚性 ・耐薬品性	

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ）

材種	寸法	形式	外枠	内枠
※アルミニウム製	・450角 ・600角	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内向 ・目地	・額縁 ・目地

（品質・性能） 建築材料等品質性能表による
（試験方法） 建築材料等品質性能表による

表面材の材質	脚部	ドアエッジ	
	形状	形状	材質
・メラミン樹脂系化粧板 ○ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・ ※ステンレス製	・標準 ○R	・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・表面材と同材

（品質・性能） 建築材料等品質性能表による
（試験方法） 建築材料等品質性能表による

~~7 章 塗 装 改 修 工 事~~

~~8 章 耐 震 改 修 工 事~~

~~9 章 環 境 配 慮 改 修 工 事~~

駒ヶ根市 教育委員会 子ども課

長野県駒ヶ根市赤須町20番1号

TEL 0265-83-2111 FAX 0265-83-2181

承認

照査

担当

製図

工事名称

令和6年度（繰越） 小学校建設事業 赤穂東小学校トイレ改修工事

図面名称

建築改修工事特記仕様書

縮尺

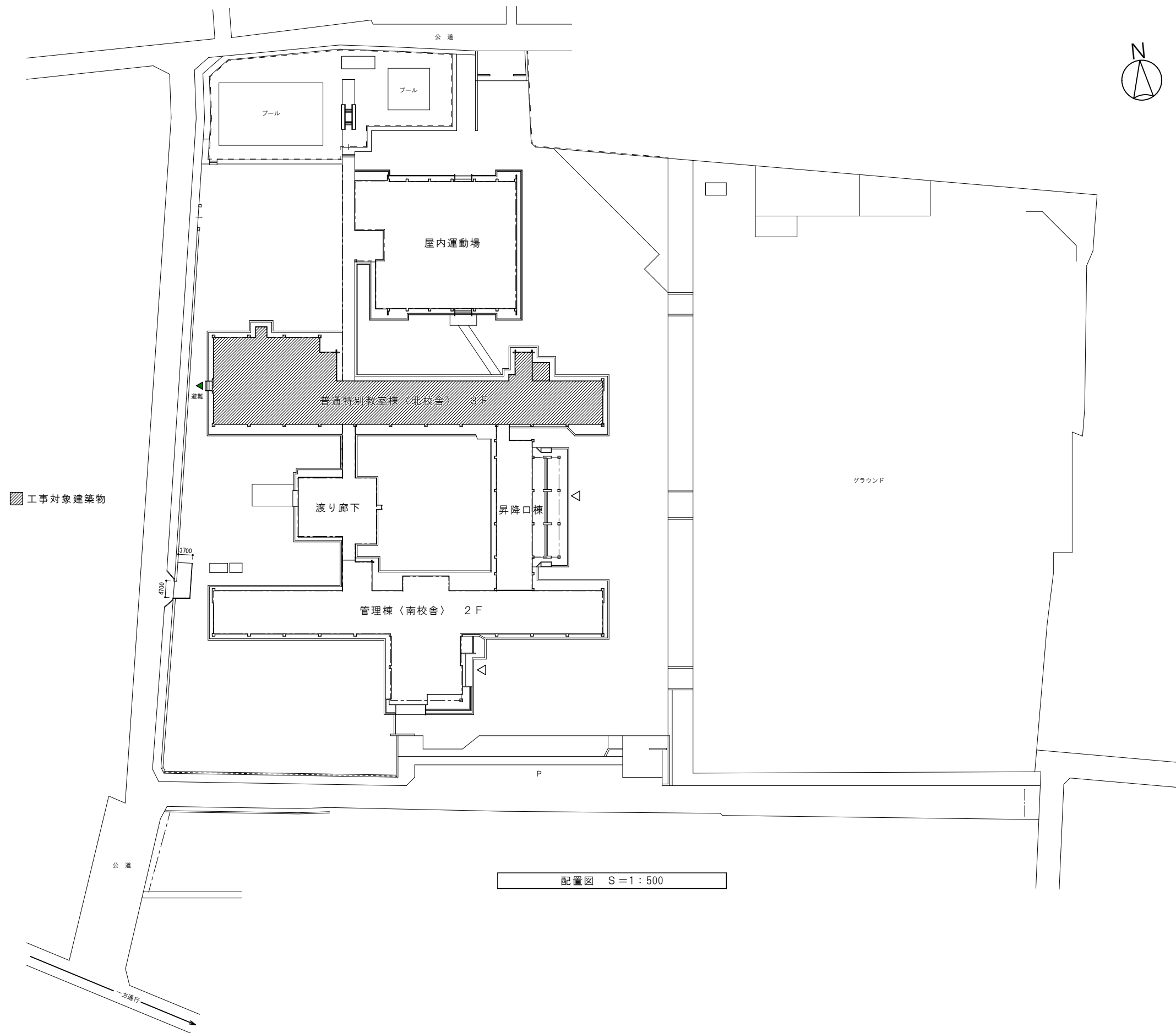
1/500

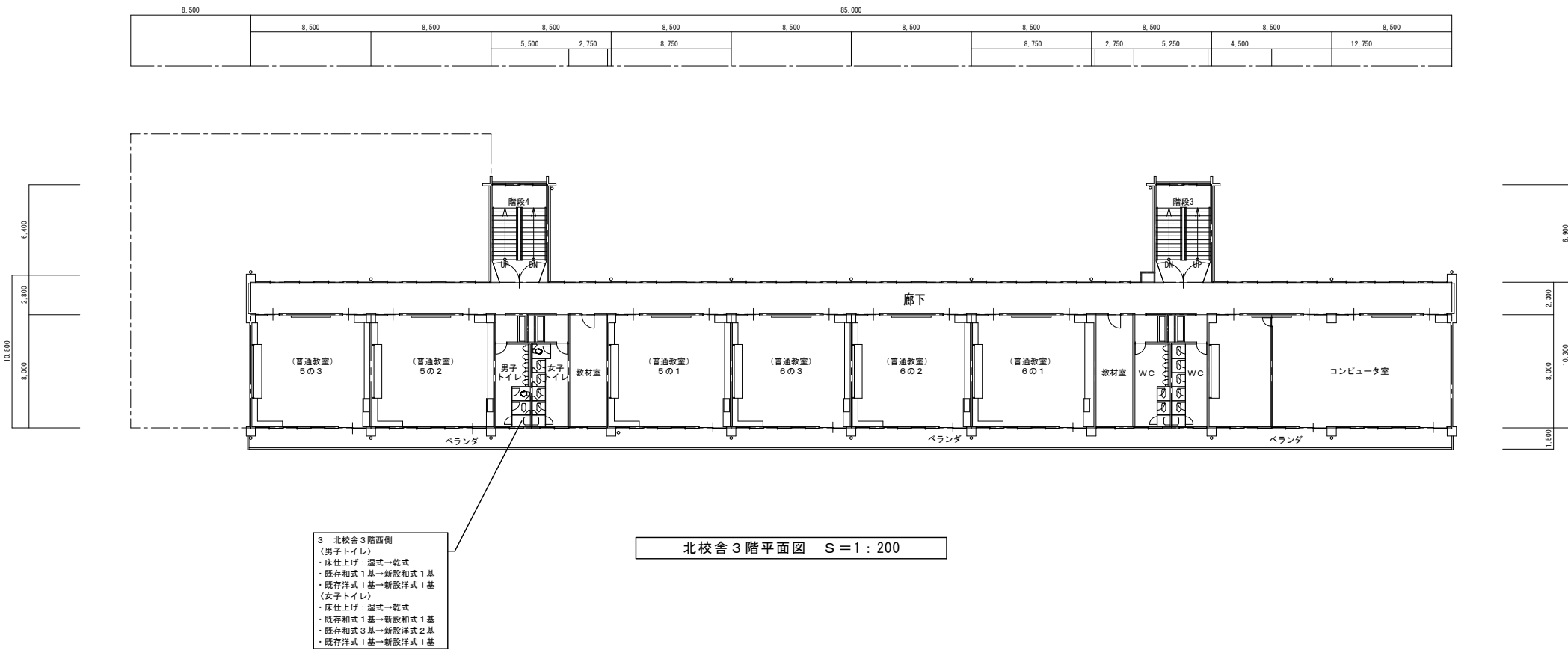
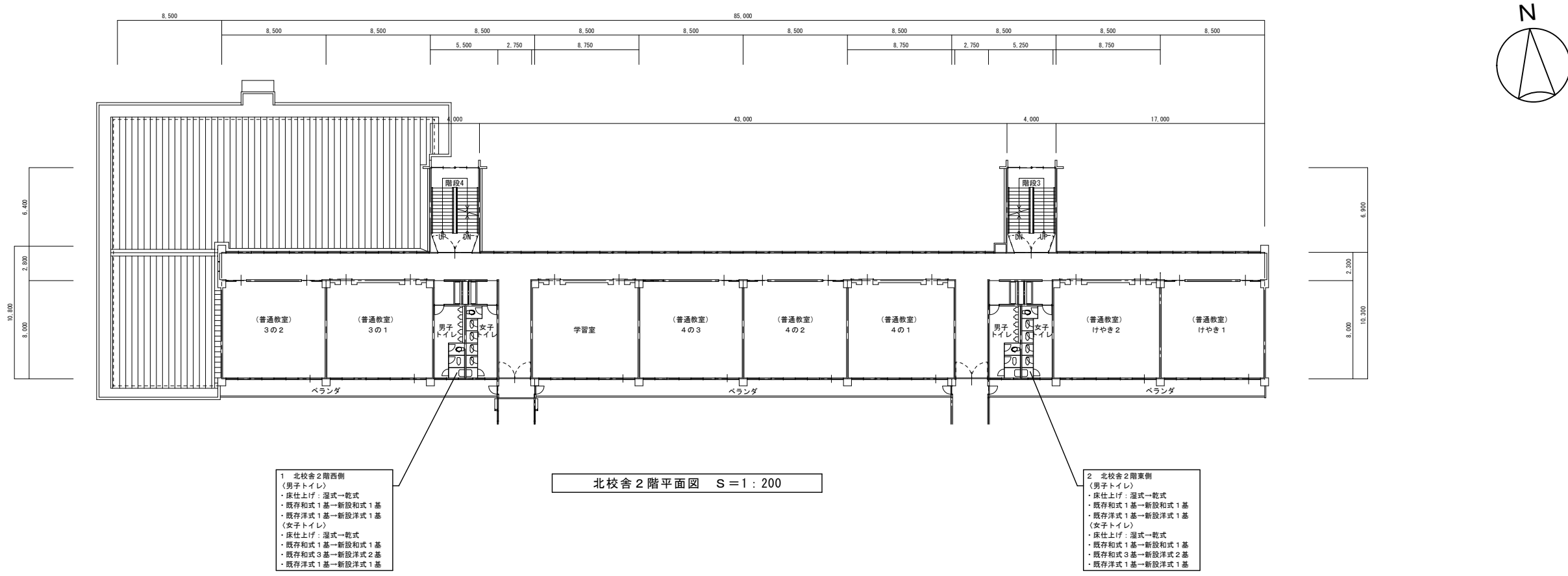
設計年月日

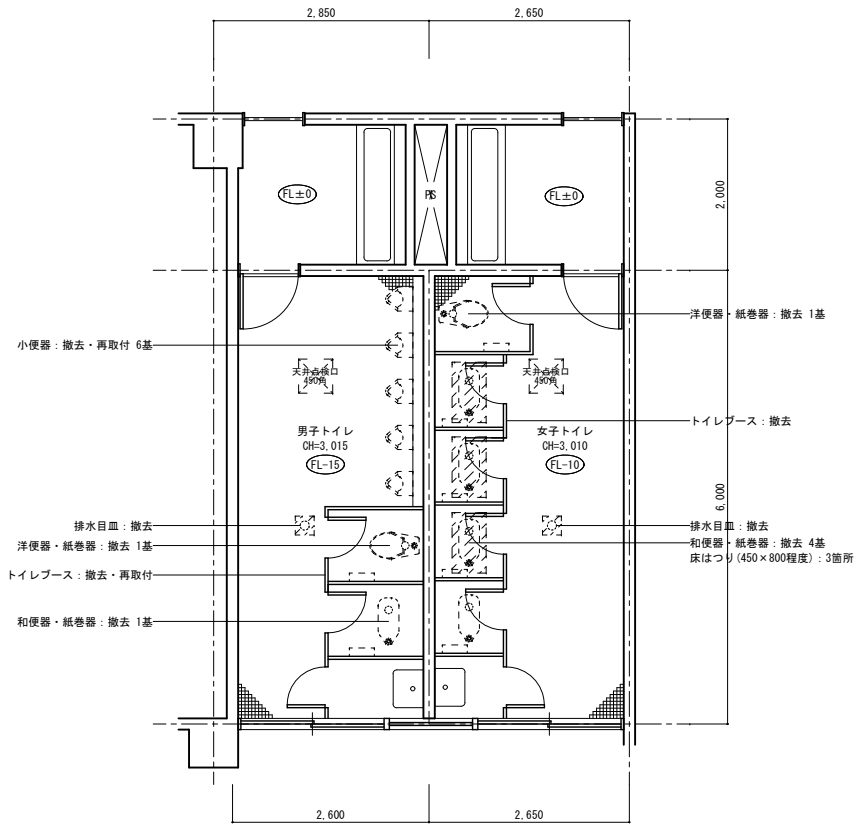
R7.4

図面番号

01

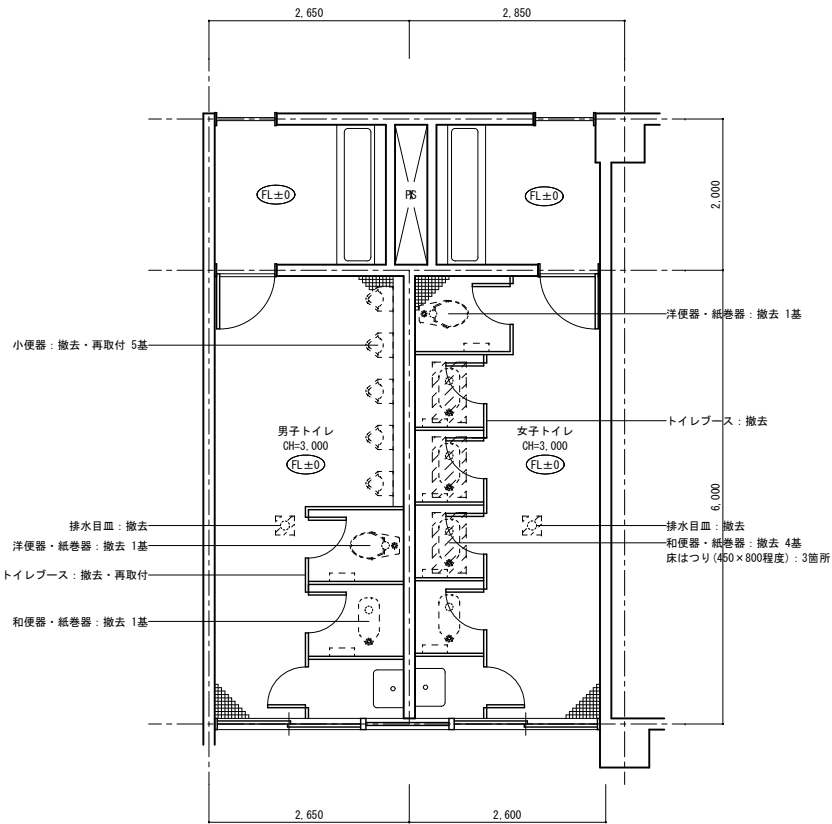






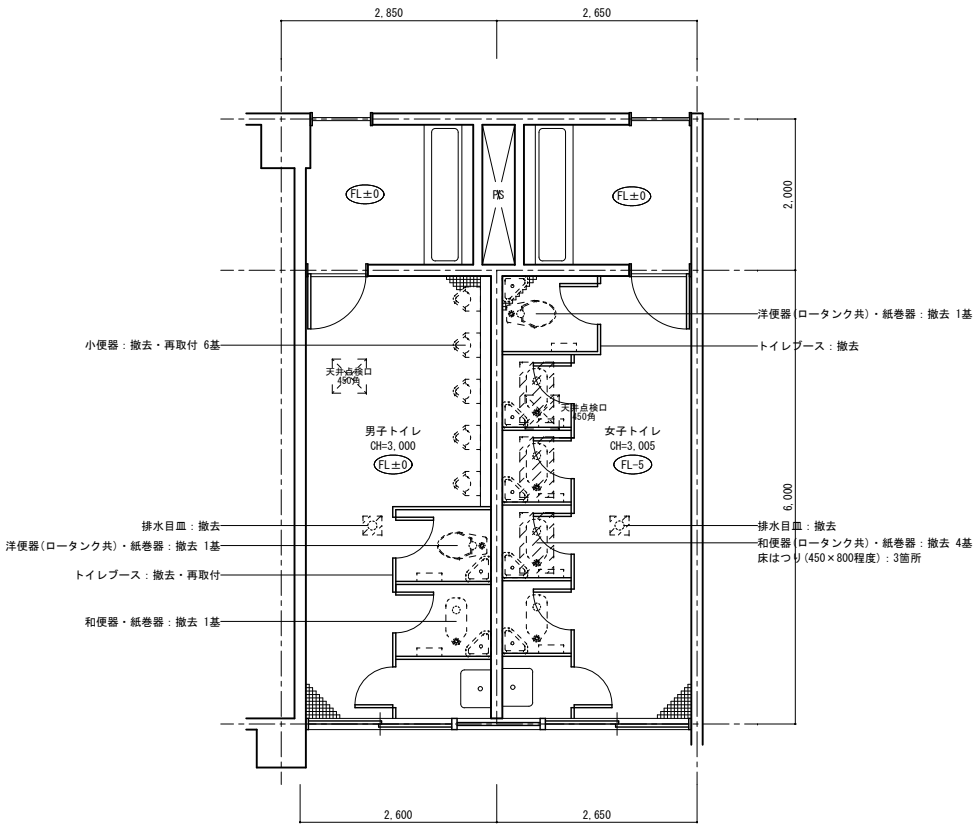
1. 北校舎2階西側トイレ 現況・撤去図 S=1:50

※下階: 天井撤去復旧



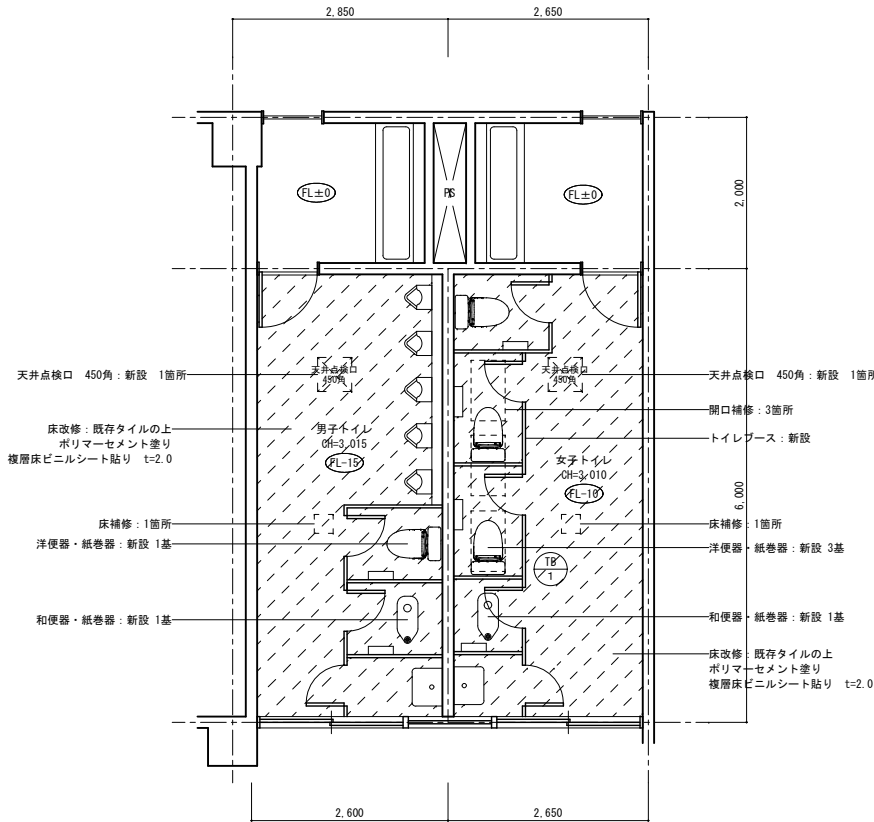
2. 北校舎2階東側トイレ 現況・撤去図 S=1:50

※下階: 天井撤去復旧



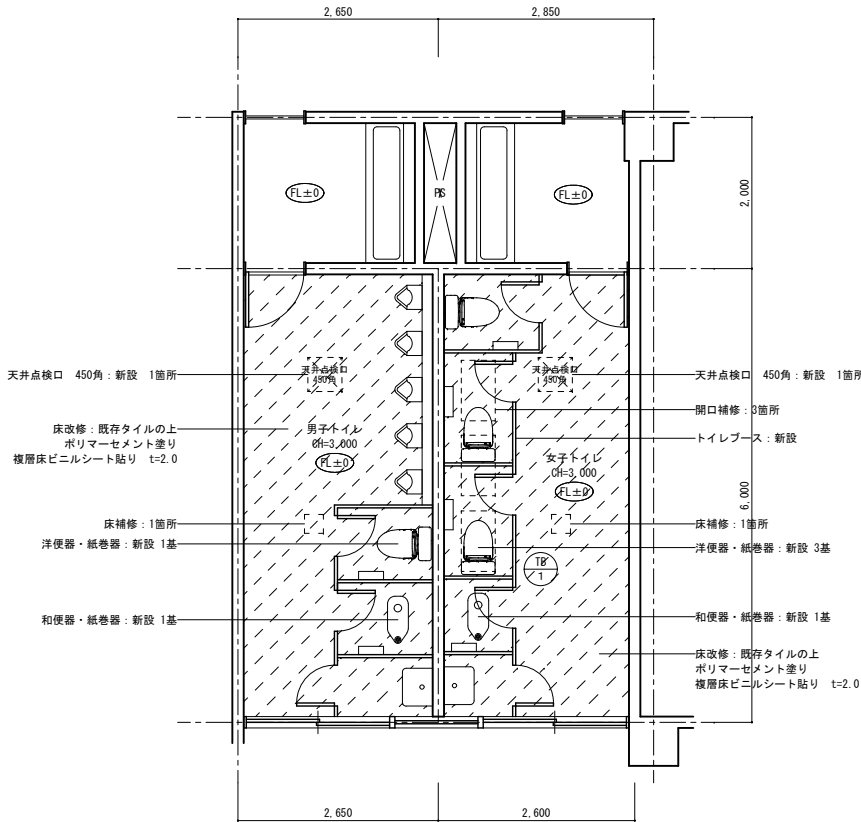
3. 北校舎3階西側トイレ 現況・撤去図 S=1:50

※下階: 天井撤去復旧

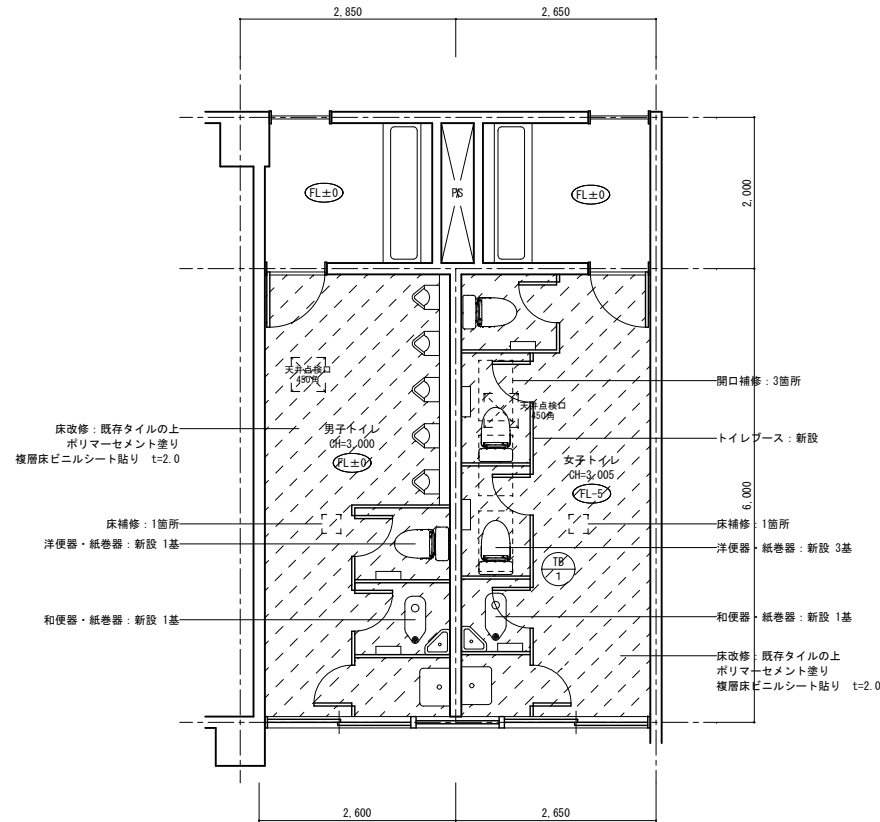


1. 北校舎2階西側トイレ 改修図 S=1:50

※下階: 天井点検口2箇所設置

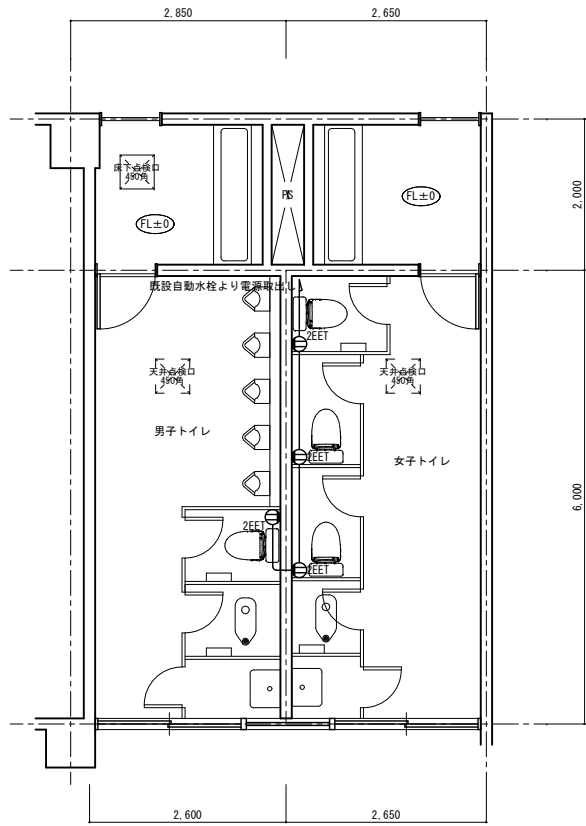


2. 北校舎2階東側トイレ 改修図 S=1:50

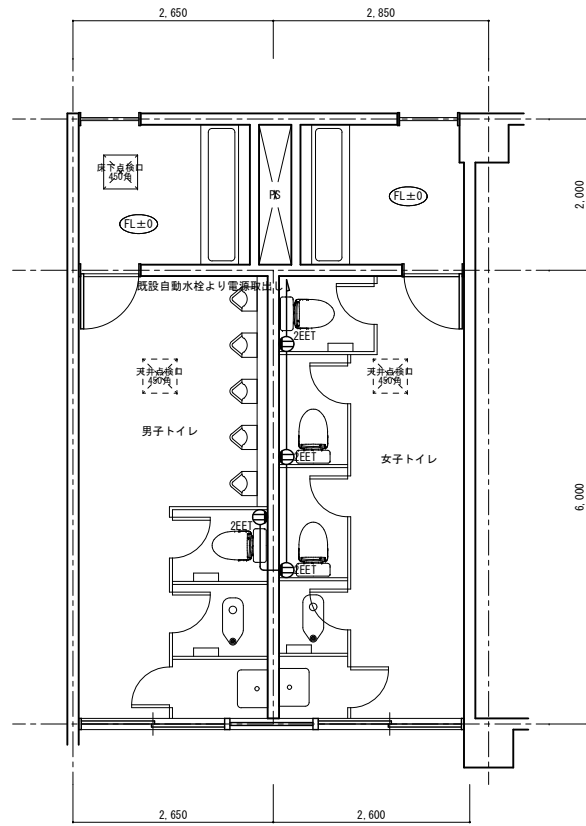


3. 北校舎3階西側トイレ 改修図 S=1:50

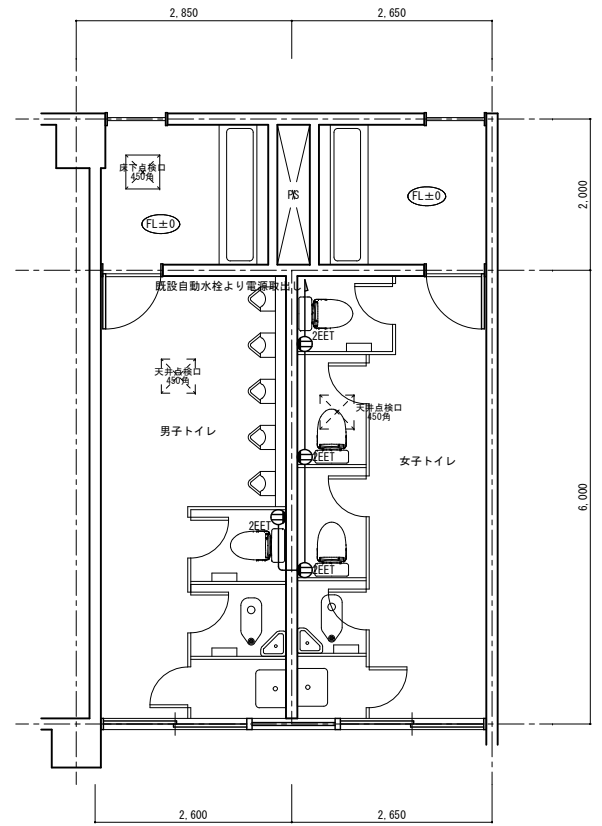




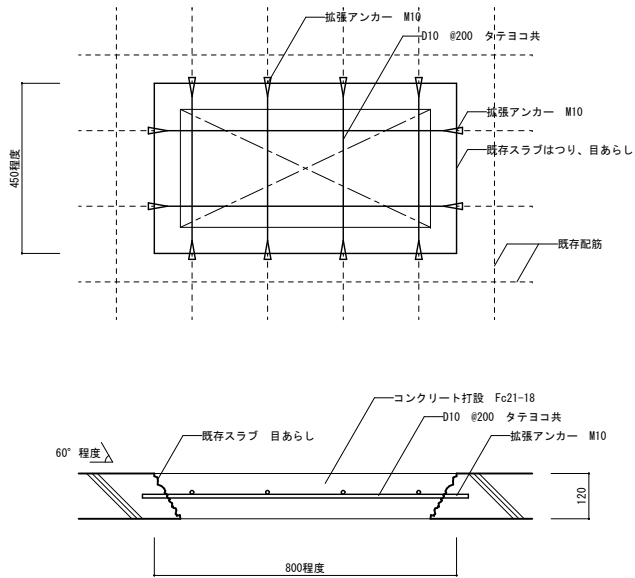
1. 北校舎2階西側トイレ 電気設備改修図 S=1:50



2. 北校舎2階東側トイレ 電気設備改修図 S=1:50



3. 北校舎3階西側トイレ 電気設備改修図 S=1:50

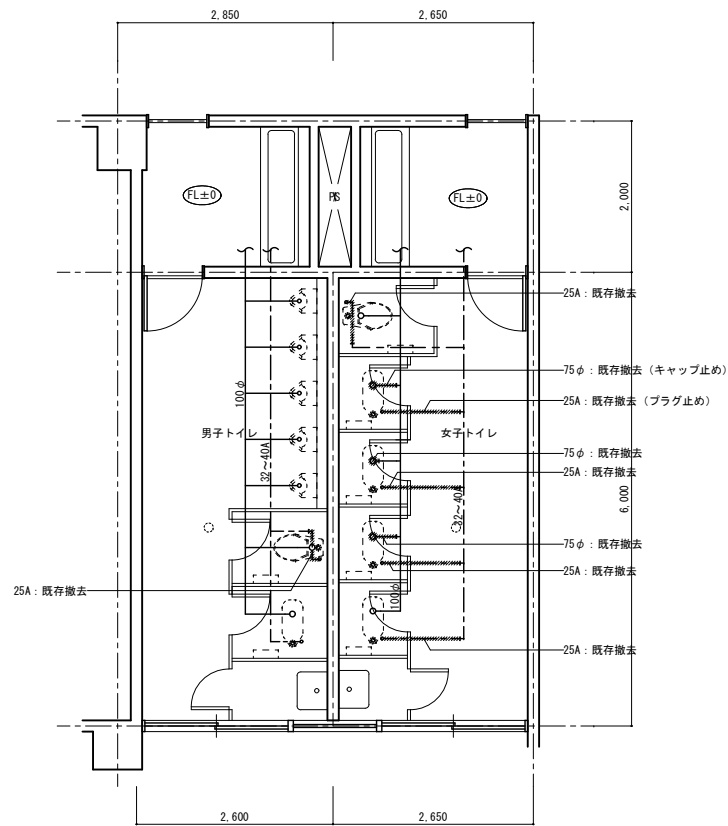


床開口補修詳細図 S=1:10

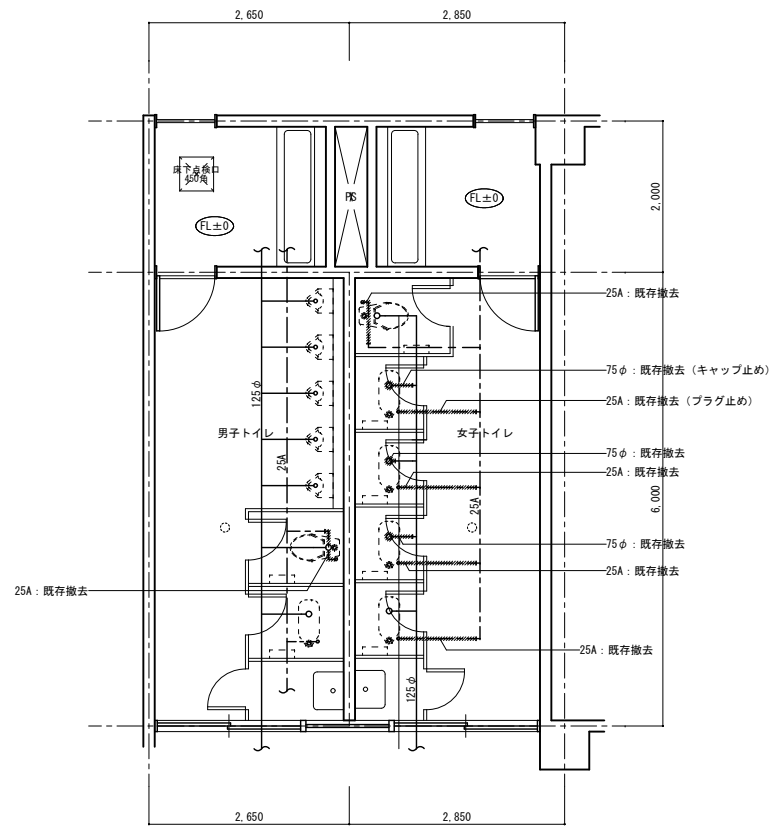
記号・数量 場所	<div>TB 1</div> 北校舎2階西側トイレ（女子トイレ）×1箇所 北校舎2階東側トイレ（女子トイレ）×1箇所 北校舎3階西側トイレ（女子トイレ）×1箇所
形状	
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ
金物	取付標準金物、頭つなぎ・巾木・表示錠・グレビティヒンジ・戸当（SUS）

建具表 S=1:30

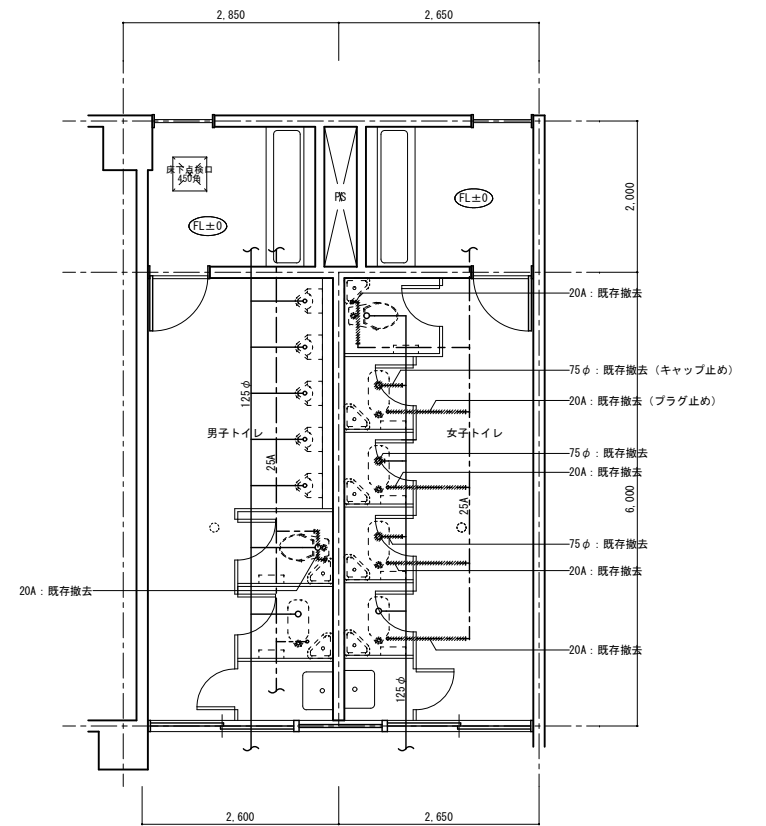




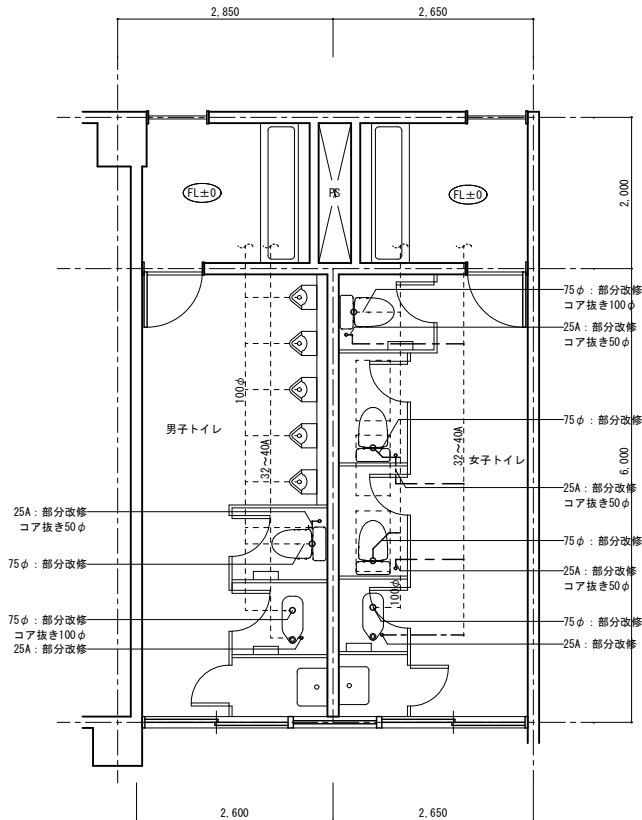
1. 北校舎2階西側トイレ 機械設備現況・撤去図 S=1:50



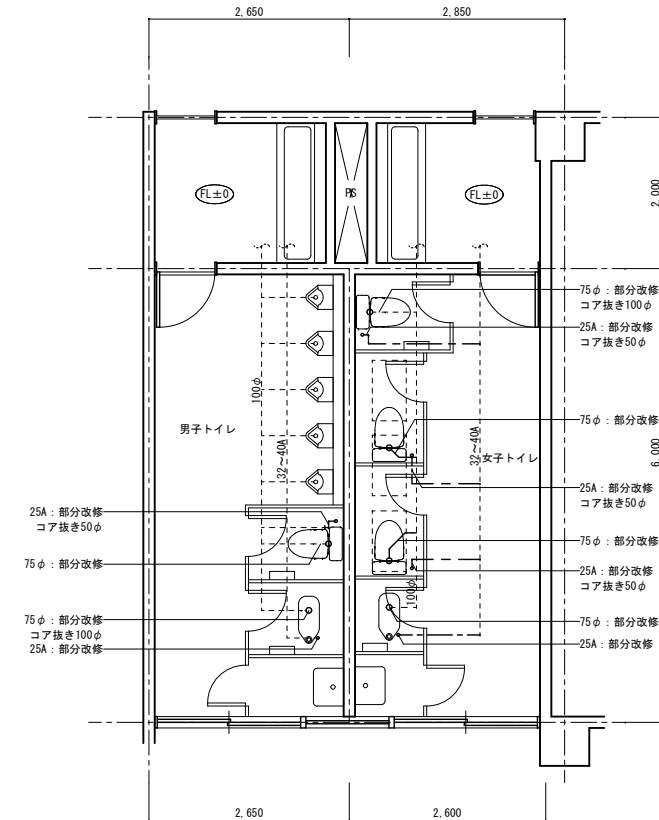
2. 北校舎2階東側トイレ 機械設備現況・撤去図 S=1:50



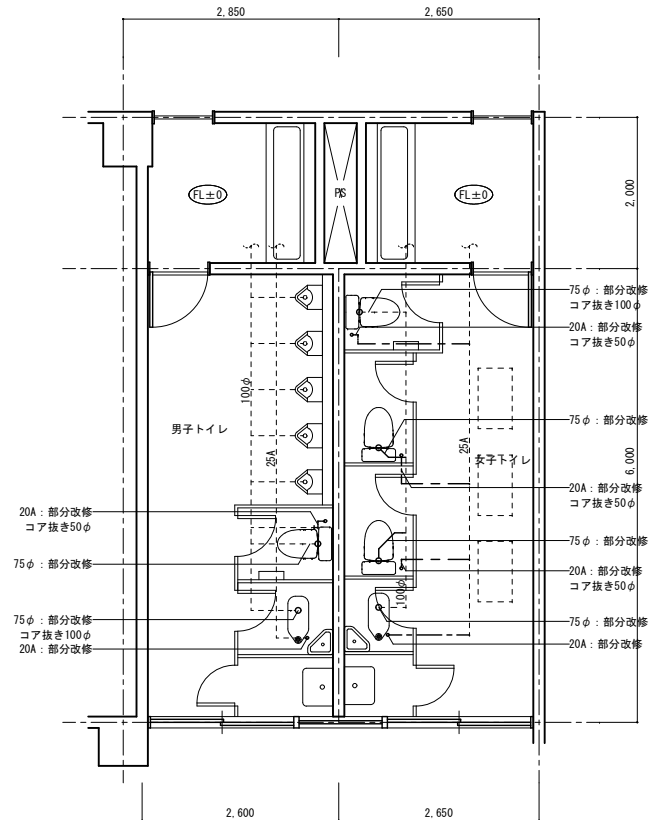
1. 北校舎3階西側トイレ 機械設備現況・撤去図 S=1:50



1. 北校舎2階西側トイレ 機械設備改修図 S=1:50



2. 北校舎2階東側トイレ 機械設備改修図 S=1:50



1. 北校舎3階西側トイレ 機械設備改修図 S=1:50

